

看護こうち

No. 157

2022年10月

Kochi Nursing Association Official Newspaper

●発行所：公益社団法人 高知県看護協会 高知市朝倉己825-5 TEL 088-844-0678 FAX 088-844-0053
Url: <http://www.kochi-kangokyokai.or.jp> Eメール: info@kochi-kangokyokai.or.jp

●発行責任者：藤原房子

会員数 6,308名

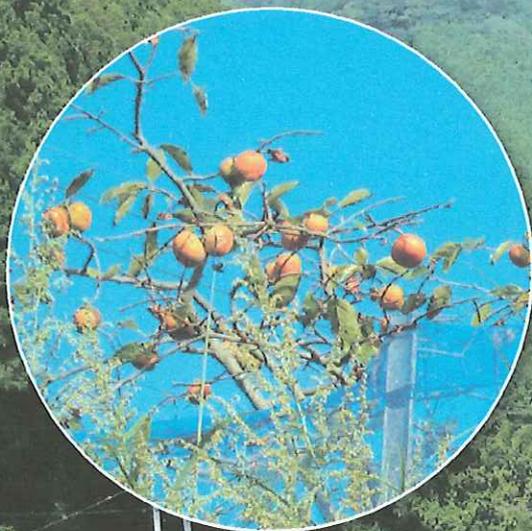
保健師 106名

助産師 154名

看護師 5,782名

准看護師 266名

(2022年10月1日現在)



令和5年度 会員継続手続きがはじまります！

10月下旬より、2023年度継続のお知らせが順次発送されます。必ず内容のご確認をお願いいたします。



公益社団法人高知県看護協会

高知市土佐山

7/3
(日)

高知家の子どもを未来を支える力！ 保健師・助産師・看護師ができること！！

保健師・助産師・看護師の3職能がそれぞれの立場で外部講師として行える「生きる力を育むいのちの教育」について検討した結果をご報告します。

助産師

前助産師職能委員長 関 正節

「すべての女性が望む妊娠・出産を」という思いで開始した助産師職能の「いのちの教育」は、2020年より3職能で取り組む「3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会」の発足に至り、本年度で3年目になりました。今回の研修会では、保健師・助産師・看護師の3職能がそれぞれの立場で外部講師として行う「生きる力を育むいのちの教育」についてプレゼンテーションするシンポジウム形式の研修会を企画しました。準備の段階では、学習指導要領に則り、各職能の専門性を活かした「生きる力を育むいのちの教育」ができるかディスカッションを繰り返しました。

伝えた「いのちの教育」が、その後も継続して教育の場で活かされて行くために試行錯誤しました。その作業は、とても貴重な作業で職能間で刺激を受け、助産師としての伝えたい内容を改めて振り返り、産声をあげたときの感激や「いのち」の有難さを改めて伝えることにしました。

シンポジウムの後の意見交換では、「多様化した性の現実から、子どもたちが本人の意思決定をできる力の一助になりたい。学校の先生がたは、性教育について興味があり、このような研修を一緒に聴いて、共通認識を持って、一緒に取り組みたい」など今後委員会が発展していく方向性を示す貴重な意見がありました。

コロナ禍で、医療職は本当に多忙な日々を送っておりますが、今後も少しずつ活動していきたいと思っています。

高知県看護協会 3職能「生きる力を育むいのちの教育」検討委員会主催

研修会「高知家の子どもを未来を支える力！
保健師・助産師・看護師ができること！！」

妊娠中から
出産から
産後・育児

助産師テーマ
大切ないのち
令和4年7月3日
助産師職能委員会

大切ないのち

助産師は、子どもたちにいのちを大切に
するメッセージを伝えるお手伝いができます

高知県看護協会 助産師職能委員会

赤ちゃんは10か月お母さんのおなかの中で大きくなります

3か月 体重 20g 身長 9cm	5か月 体重 250g 身長 25cm	7か月 体重 1000g 身長 35cm	8か月 体重 1500g 身長 40cm	10か月 体重 ~3000g 身長 ~50cm
-------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------------

少しずつ大きくなっている赤ちゃんがどんな気持ちか、家族がどんな気持ちか問いかげながら話します。

最初赤ちゃんは0.2mmぐらいのおおきさだよ → 3000gぐらいでうまれます

でも、ミルクを飲ませてもらったり、おむつをかえてもらえなければ大きくなっていきません

大切なひとつだけの命

唯一無二のかけがえのない命であることを伝えます。臨床の場で、ご家族が一生懸命いのちにむきあっていること、私たちが命のすばらしさをいつも感じている助産師としての命の誕生のすばらしさを伝えます

保健師

保健師職能委員 小澤 若菜

保健師職能からは、「保健師の私たちができること」についての報告を行いました。報告では、まず実践として、保健師が健康な地域づくりを行うコーディネーターとなることを伝えました。そして、身近な地域の中でサポートし、健康な生活を守るための教室を実施することができることを説明しました。実際に企画した教室のテーマは、「みんなの身近にいる、地域の人たち」です。地域に大切に育てられていること、見守られているというメッセージと共に、自分を守り、喜びや自己肯定感を高められることを意図して企画しました。将来、助けが必要な時に、地域の大人を頼り、支援を求めることで、これからも安心して住み慣れた地域で生活することができることを目指しています。

みんなのせいかつをまもる おうえんだん



地域をパトロール中
(提供：岡山県民生委員児童委員協議会)



子どもたちの目下物を見守る様子
(提供：豊後区民生委員児童委員協議会)

「ちいき」の人たちがたくさんいます

みんながうまれてくることが わかったら・・・



看護師

看護師職能委員長 岩崎 美幸

看護師職能では、「生きる力を育む命の教育」の活動として、「いのちを守る」について一緒に考えていきます。看護師は、赤ちゃんからご老人まで人々の命を守り、命に向き合う仕事です。事故や災害だけでなく、人が亡くなることや自宅で最期まで生活することの意味について子どもさんや学校の先生と一緒に考えます。また、病気を管理しながら登校する子どもさんの病状に合わせて、学校生活について一緒に考えていきます。病気や障がいを持つ人を理解することによって命の大切さを考え、自分の命だけでなく他者の命の大切さも考えることができると思います。困りごとや相談したいことがありましたら、看護師職能（高知県看護協会）にご相談下さい。

みんなのいのちを守る！ いのちと向き合う現場で働く看護師

- ・看護師は『いのちを守る』スペシャリストです。
- ・けがなどの救急処置や応急手当をします。
- ・病気を予防、発見します。
- ・病気の治療や生活を支えます。
- ・災害のときにいのちを守る方法をおしえます。
- ・こころがつかれて悩んだときにこころのケアをします。
- ・在宅で家族を介護しているとき家で生活が続けられるケアをします。
- ・看取りのケア
(その人らしく最後を迎えるケアをします)



●病気の説明 (1型糖尿病の続き)

他にも、さまざまな病気や障がいについて、子どもたちと一緒に考えて病気や障がいをもつ人の理解を深めていくことで、いのちの大切さを学び、自分のいのち、みんなのいのちを守ることを考えていくことができると思います。

お知らせ

新型コロナウイルス罹患看護職員への見舞金の支給について

日本看護協会では、寄附金を活用し新型コロナウイルス罹患看護職員へ3万円の見舞金の支給を行っています。新型コロナウイルスに業務上罹患し、労災保険または公務員災害補償制度の認定を受けた看護職が対象です。労災等認定日が2022年10月31日までの方、申請は2022年11月30日までとなっています。申請方法など詳細は、日本看護協会ホームページをご参照ください。

保健師助産師看護師職能合同集会

「看護職はコロナ禍をどう乗り切ったか」

～第6波を振り返って～

保健師職能委員長 窪田 純子

新型コロナウイルスの感染が広がる中で、高知県看護協会や3職能が職場での感染対策やクラスター対応、他施設への派遣支援の経験から得た学びや連携の重要性を理解・共有し、今後の感染対策に活かしていくことをねらいとして開催しました。

「周産期における新型コロナウイルス対応について」

高知医療センター 助産師 矢野 真奈美

コロナ禍において総合周産期母子医療センターとしての役割を果たし母子の健康を守るために、厳しい面会制限、陽性者や濃厚接触者に対応するための環境調整、妊婦管理など大きく変化し様々な課題に取り組んできました。

以前のようなケアや支援を行うことは難しくなり、責任感とジレンマに悩み苦しむこともあります。その度に私たちにできる最善を提供すべく、部署内外で連携し、協力し、励ましあって、乗り越えてきました。今後も感染状況、社会の変化から、さらなる変容を求められると思いますが、これまでの経験で醸成された応援しあう文化や、対応能力を生かし、総合周産期母子医療センター一丸となり、努力と挑戦を続けていきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染対策

- ◆ 面会制限
- ◆ 妊婦への対応
- ◆ スタッフ変化
- ◆ 環境調整
- ◆ 新型コロナウイルス陽性妊産婦の管理

妊婦への対応

- ◆ 感染対策教育
 - 外来時の保健指診時には感染対策指導（退診時の注意点、行動自粛など）
 - ワクチン接種促進
 - 正しい情報提供による妊産婦・家族への不安軽減
- ◆ 母親学級・両親学級を中止
 - 個々の妊婦健診での保健指導の充実
 - 保健相談係（動画）の充実、活用方法工夫（妊婦健診待ち時間の利用）
 - 保健相談外来の充実と活用（第5波以降は夫も来院）
 - 今後はリモートでの集団指導や自宅で動画視聴可能なシステム構築も

今後の課題

- ◆ 入院・分娩時における各部署でのマンパワー不足
 - 応援体制の構築
- ◆ 必要な情報を正確に共有していく重要性
 - 日頃の連携やコミュニケーションが緊急時のメンタルモデルの共有に大きく影響
 - シミュレーションを用いた対応能力の向上
 - 他部署・職種との合同の振り返り
- ◆ 妊産婦の感染対策意識の高まりと行動変容の一方で、今後自粛緩和の傾向
- ◆ 分娩後の育児支援と精神的ケア

「新型コロナウイルスクラスター施設への支援活動報告」

高知赤十字病院 看護師 川村 亜希

派遣先で私が行った実際の業務は、レッドゾーン内での外回り業務でした。勤務中はインカムを装着し、どこにいても状況が把握でき、協力体制がとれていました。レッドゾーンへの入退室時には必ず「お願いします」や「ありがとうございました」とスタッフ同士で声掛けが行われていました。これは自然に浸透したことだそうで、忙しい中でもお互いを思いやる気持ちを忘れてはいけなと気づかされました。

募集内容からICU経験が活かせる業務を想像していたので、役割を果たせているのが不安でしたが、「こういうことをしてくれる人がいるだけで本当に違う、ありがとうございます。」という言葉を受け、思い直しました。

誰でもできる、誰かができる業務を行うことで、日々の受け持ち看護師が今までしていた看護、本当にしたい看護に少しでも近づけられるように、そしてもし自分が同じ立場になったら日々の看護で何を大切にしていきたいかを考える機会になりました。

広域的な看護師派遣を振り返って

派遣先：関西医科大学総合医療センター
 派遣期間：2021年6月1日～6月14日 派遣病棟：ICU
 病院概要：病床数（477床）診療科（29科）陽性患者ICU（14床）
 派遣先のレッドゾーン内での業務内容

点滴の準備	洗面介助	吸引	口腔ケア
採血・血液ガス採取	おむつ交換	清拭・陰部洗浄	手足浴 洗髪
体位変換	レントゲン撮影介助	ゴミ収集	空気清浄機の排水と給水
患部処置法の介助			
環境整備	CT室への搬送介助	尿回収	入院のベッド回り準備 入院時の介助
物品補充	透析液の排液と 排液ボトルの交換	体温測定の介助	

印象に残ったこと

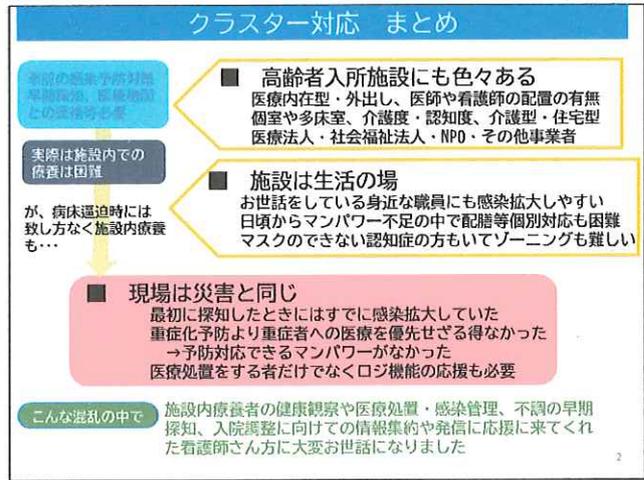
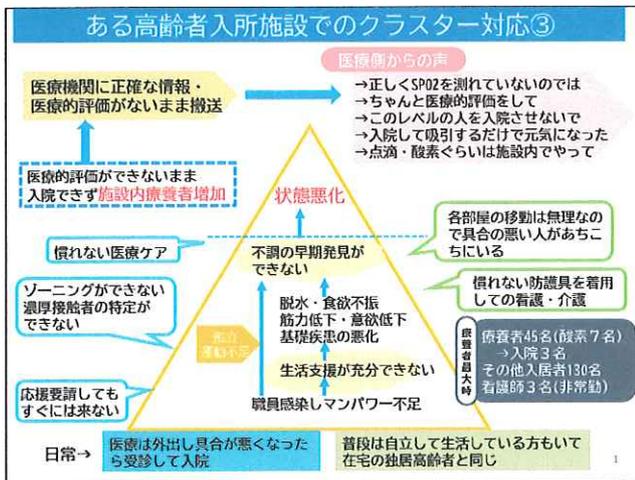
- ◆ スタッフの方から聞いたお話
 - ・ 第4波では重症者の増加速度が第3波に比べ約3倍となり、救急車の受け入れが困難になった
 - ・ ECMOも1：2看護でみているところもあるなか4：1看護でやってきた
 - ・ いつまで続くかわからないものを続けられるようにこの方針をとってきた
 - ・ よくも悪くも極みをもたせている
- ◆ 「そのなかで助けられる命が助かれば」
- ◆ 振り返って
 - 新型コロナウイルス感染症に対して今までの医療や看護を提供する難しさ
 - 派遣看護師としての役割
 - 誰でもできる 誰かができる業務
 - 受け入れてくれる施設が求めていることを行う
 - 本当に大切にしたい看護を考える機会

「高齢者施設のクラスター対応を振り返って」

高知県中央東福祉保健所 保健師 尾木 朝子

高齢者入所施設で発生したクラスターでは、基礎疾患を持つ多くの高齢者が施設内療養を余儀なくされた。重症化予防より重症者への医療を優先せざるを得ない状況となったが、早い段階から職員にも感染が広がったことから、看護職が不足する中で命を守るための医療処置等の体制確保さえも困難を極めた。

高知県看護協会が調整役となり、県内の医療機関や大学から看護職の応援を得ることができたことで、嘱託医と連携した施設内療養者の健康観察や医療処置・感染管理、不調の早期探知が可能となるとともに、入院調整に向けての情報集約や発信など、ロジ機能の改善につながった。



医療現場の声を届ける ■令和4年8月22日(月)

高知県看護連盟、高知県看護協会が連携し、新型コロナウイルス感染拡大で医療逼迫している現状と対応について国会議員、県議会議員、県職員に医療現場の声を届ける会を持ちました。

約2時間にわたり、「発熱外来が患者数の急増にパンク状態にあり、マスクや検査キットが足りない中で患者さんを断らないといけない」、「職員の感染や濃厚接触者の増加で人員体制の維持に困窮している」、「命を守るという使命感だけでは継続できない」などの現状を伝えました。

各議員、県職員から、厳しい現状を踏まえ、医療材料の確保や医療提供体制に関する考え方について意見をもらい、今後も協力して対応することを確認しました。



施設紹介 県下の地域で活躍する看護職

東 部

医療法人千博会 南国厚生病院

◆南国市立田1180
◆看護部長 西澤 京子

当院は、病院の窓から飛行機の離着陸を眺望できるほど高知龍馬空港に近く、香長平野ののどかな田園風景の中にある医療療養病床88床の病院です。令和3年4月から大幅な組織改革により看護体制も大きく変わりました。令和4年度からは新卒看護師の受け入れを開始し、集合研修やシミュレーション教育、eラーニングを取り入れた新人教育や看護師・看護補助者教育にも取り組んでいます。すべてが初めての試みですが、新しいスタッフも増え、現在成長期にある病院です。

医療療養病院では珍しく365日リハビリを行っており、多くの方が施設や在宅復帰をされています。長期療養を目的に入院されている方もいらっしゃいますが、対象者のニーズにできるだけ寄り添うことができるよう機能向上と維持に積極的に取り組んでいます。



中 部

訪問看護ステーション和来こうち

◆高知市鴨部1128番地1
◆管理者兼看護師 森田 誠



「訪問看護ステーション和来こうち」は、2022年8月に開所したばかりの精神科に特化した訪問看護ステーションになります。私たちが大事にしている事は、“意図的に言いなりになる”、“意図的に振り回される”ということ。少し語弊を生みやすい言葉になりますので馴染みの言葉でいうと、“利用者さんの自律性や自己決定を大事にする”ということになります。これは私が精神科病院の看護師として勤めてきた中で大事にしてきたことで、利用者さんにとってやってみようと思うタイミングや気持ちを逃してしまうと、またその気持ちを持つことに物凄くエネルギーが必要になります。

利用者さんは多様な病態と特性、個々の生活背景や家族構成により、精神症状や生活のしづらさ、ニーズなどは変わってきます。私たちは利用者さんの声を大事にしなが、たとえ症状があっても住み慣れた地域で自分らしい生活を自分自身で組み立てることができるようにサポートしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



西 部

医療法人一心会 安部病院

◆吾川郡仁淀川町岩丸102番地
◆看護部長 刈谷 博幸



安部病院は仁淀川町で唯一の入院病床を持つ病院です。医療療養病床21床、介護医療院30床、グループホーム2ユニット、外来において、地域医療の発展につくすことを理念とし看護サービスを提供しています。仁淀川町は、人口が約5000人、高齢化率は県内第2位の56%に迫っています。過疎・高齢化の進む一方で、仁淀川をはじめ、上久喜の花桃、ひょうたん桜、しだれ桜、中津明神山の天空の林道など、美しい自然に囲まれた観光名所がたくさんあります。そのような環境の中、看護師のワークライフバランスにも力をいれており、昼休憩は1時間30分で実働は1日7時間、残業はほぼゼロとなっています。また、タスクシフト・シェアも進めており、看護師特定行為の実践が可能です。現在、月当たり10件以上の特定行為が実践されています。

美しい自然のある地で、住民の方たちが自分らしい暮らしを続けることができるよう、看護部一同サポートをしていきたいと考えています。



看護制度委員会研修会のご案内

テーマ

「看護師の資格と 診療報酬について知る」

11/26AM
ハイブリット

《ねらい》

専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了の看護師の実践と診療報酬の関係について知り、経営的視点を広げる

日時：令和4年11月26日(土) 9:30～11:30

場所：高知県看護協会 新館2階研修室

講師：濱中 洋平 氏 (オンライン参加)

(株)日本経営NKアカデミー事業

統括マネージャー

対象者：看護管理者・看護師・准看護師 他
多職種の方、興味のある方

定員：50名

受講料：会員 1,100円

非会員 2,200円

受講方法：集合・オンライン



管理者の
皆さんも
ご参加お待ち
しております！

テーマ

実践！看護記録の基本 日々の記録と状態変化時の記録

11/26PM
ハイブリット

《ねらい》

看護記録の基本を学び、患者の状態に応じた適切な記録ができる

日時：令和4年11月26日(土) 13:30～16:30

場所：高知県看護協会 新館2階研修室

講師：松永 智香 氏

医療法人白菊会 白菊園病院 統括看護部長

対象者：看護師・准看護師・介護福祉士・その他
医療関係者

定員：50名

受講料：会員 1,100円

非会員 2,200円

受講方法：集合・オンライン



※申し込みはホームページから申込用紙をダウンロードしFAXしてください。
オンライン参加の場合は、メールにてお申し込みください。

高知県看護協会は
県内看護職のキャリアアップを応援しています!!

令和5年度 奨学生募集

給付型

1. 応募資格

- (1) 看護師養成所2年課程奨学金
- (2) 専門看護師教育課程奨学金

2. 給付額

- (1) 看護師養成所2年課程奨学金・・・1人あたり24万円
- (2) 専門看護師教育課程奨学金・・・1人あたり36万円

3. 応募人数

- (1) 看護師養成所2年課程奨学金・・・14名程度
- (2) 専門看護師教育課程奨学金・・・3名程度

4. 応募受付期間

令和5年2月1日(水)～2月24日(金) ※必着

詳細は高知県看護協会ホームページをご参照ください。
ご応募お待ちしております。

プラチナナースセミナーのご案内

プラチナナースとは、「定年退職前後の就業している看護職員」で、これまでの経験と能力を發揮し、生き生きと輝き続けている看護職員の呼称です。

1回目を7月に開催し、退職後の働き方や資産運用など人生設計を立てやすくなったなどの意見があがっていました。

次回は12月14日(水) 13:00～16:00に開催予定です。詳細はHPでご確認ください。

ご参加お待ちしております。

令和5年度 会員継続手続きがはじまります！

10月下旬より、2023年度継続のお知らせが順次発送されます。必ず内容のご確認をお願いいたします。
施設の会員ご担当者様へ：すでに退職されている方は、速やかに県協会へご郵送ください。

退会について

継続を希望されない方は、2022年12月15日(木)までに退会届と会員証を県協会へ送付してください。
※締め切り後にご提出の場合、口座振替の停止が間に合わない可能性があります。

会員のひろば



わが家の癒し

高知県立大学看護学部 徳岡 麻由

コロナ禍の引き籠り生活に癒しを求め、子どもたち念願の愛犬がわが家に来てきたのは2月のことです。飼うなら絶対にフレンチブルドックと決めていたものの、なかなかいい出会いがなく数か月・・・無事、プリンドルの子犬を迎えることができました。

お迎えしてからはまるで育児のような大変さもあり、「育犬」に苦戦していますが、家族の一員として毎日癒しと笑顔を届けてくれる大切な存在です。

パピー犬は床にあるものをなんでも拾ってしまうため、おかげで床には何も置かなくなり、片付けが進むという思わぬ副産物もありました。また命を大切に

はぐくみ、慈しむ心が、子ども達にも自然と身につけているようです。これからはわが家の一員として沢山、幸せな時間を一緒に過ごしていきたいと思います。



理事会報告

(第4回理事会) 令和4年9月10日(土)

I 審議事項

1. 奨学金給付事業について
2. 令和5年度 通常総会の日程
3. 入会促進の取り組みについて

II 報告事項

1. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う県への陳情について
2. 令和4年度 都道府県看護協会政策責任者会議の開催について
3. 令和4年度 中国・四国地区別法人会会員・職能委員会について
4. 研修申込システム開設のための施設口座登録の依頼と今後の予定について
5. 10月からの研修方法について
6. 業務執行理事の職務報告(定款第26条第4項)
7. 後援依頼について
8. 委嘱を受けている諸会議

III その他



令和4年度 高知県看護協会看護研究学会

テーマ **求められる看護の力**

～ともに造る看護の未来～



開催日 令和5年2月25日(土)9:00～

会場 高知県看護協会会館

参加費 会員3,300円、非会員5,500円(集録代含む)

開催方法 一般参加の方はWeb参加となります

学会プログラム

シンポジウム

コロナ禍で変化する人と人とのかかわり

～問われるコミュニケーション力～

※教育の立場から: 臨地実習に行けない状況下でのコミュニケーション力の育成

※臨床の立場から: 現任教育における工夫

※周産期看護の立場から: 周産期における取り組み

※家族看護の立場から: 面会制限が続く中での家族支援

口演

原稿応募締切日: **令和4年11月30日(水)13時必着**

応募資格: 発表者(筆頭研究者)は高知県看護協会会員であること

参加申込期間: 12月15日(木)～1月31日(火)

参加申込方法: 看護協会ホームページ→教育・研修→P看護研究学会
→令和4年度看護研究学会専用申込書



問い合わせ 公共社団法人高知県看護協会 TEL(088)844-0678

編集後記

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の流行を耳にし、県内でも、徐々に感染が拡大し、まもなく3年を迎えようとしています。その間幾度となく、変異株・オミクロン・ワクチン接種・抗原キット等、常に日常会話のキーワードのように口にし、新型コロナウイルス感染症と伴って過ごした約3年間といっても過言ではないと思います。医療現場でも仲間や同僚が次々と新型コロナウイルスに感染し、まさに災害ともいえる看護人員で、来る日も来る日も、夢中で看護業務に明け暮れた方・現在も業務にあたられている方も少なくないと思います。今なお、頑張り・看護業務が継続できる事は、いつの間にか、備わった「免疫」とも言えよう「使命感」というシステムが自動的に働き、仲間と励ましあって、侵入してきた問題・課題に対応できる反応(知識・技術の活用)や回避できる、「体力・精神力」の賜物だと思えます。

「看護こうち」は時代のニーズにあった情報提供や看護協会の活動など会員のみならず、お役に立てる広報誌をめざして頑張りますのでこれからもよろしくお願い致します。

(広報出版委員長 高北病院 野波 和枝)